

尾瀬ヶ原散策

「夏が来れば思い出す、遥かな尾瀬遠い空・・・」でおなじみの尾瀬ヶ原は、群馬・福島・栃木県にまたがる尾瀬国立公園の一部で西側に至仏山（日本百名山）、東側に燧ヶ岳（日本百名山・東北最高峰）を要し、広さは東西6Km, 南北2Kmで、標高は1400mの「高層湿原」になります。



水芭蕉の群生（山の鼻手前）



鳩待峠

植生が豊かで、初夏には水芭蕉・夏にはニッコウキスゲ・秋には草紅葉と冬以外は木道歩きをしながら多くの花が楽しめます。特に初夏の水芭蕉は、人気が高く生息は北米と日本に限定されています。北米の水芭蕉は黄色で、白の水芭蕉でこれだけ大規模な所は世界で尾瀬ヶ原だけとなります。



牛首（至仏山をバックに）



燧ヶ岳（牛首）

歩行ルートは色々ありますが、今回はポピュラーなコースの群馬県片品村の戸倉温泉郷からのスタートにしました。同行メンバーは前田さん（香川がっく）と友人 1 名の 3 人です。登山口のある鳩山峠までは、乗合バスで 30 分位です。ここで、朝食を摂りスタートとします。鳩待峠は標高 1,600m なので、山の鼻（尾瀬ヶ原西玄関）までは下りの登山となり、岩と石の混じった登山道を気を付けながら進みます。20 分位歩くと木道に変わり少し進んで行くと水芭蕉がありました。散策しながら約 1 時間で山の鼻ビジターセンターに到着です。ここで給水・休憩をして散策しながら、牛首を目指します。

水芭蕉以外に、リュウキンカ・ショウジョウバカマ・タテヤマリンドウ等の花があり絶景です。小生は残念ながら睡眠不足でここまでとし、前田さんと・友人が龍宮まで行ったようです。龍宮近くの下ノ大堀川からの撮影ポイントが一番よいとのことでしたので残念です。しっかりと睡眠を取りましょう。



リュウキンカ



ショウジョウバカマ



タテヤマリンドウ



ワタスゲ

健脚の方が多いので行っていない方は是非チャレンジしましょう。

- 今回のコースタイム (まとめ)

鳩待峠 60分 山の鼻 60分 牛首 45分 龍宮 約3時間

帰りは山の鼻から鳩待峠へは登りなので 20~30分長くなりますので

合計で6時間30分位となります。(昼食除く)

- 登山の服装

登山靴・帽子・ザック (雨具・保温衣類・行動食・昼食・飲料水等)



山の鼻ビジターセンター



歩荷 (ぼっか) さん



龍宮近くの下ノ大堀川からの絶景ポイント (前田さん提供分)

※ 尾瀬ヶ原に着き良い天気になりました